



高倉中だより

10号 2020.3.5
校長 長田 光子

生徒の皆さん、突然の休校に戸惑いと不安を持って5日間を過ごしたことを思います。ニュースで連日報道される新型コロナウイルスによる感染症の対応で毎日の日常の生活がすべてストップする体験をすることになってしまいました。本日の時間限定の登校と11日の卒業式、在校生は25日の修了式のみと、冬休みよりも長い休業を強いられています。



2月28日（金）にお渡ししたお知らせの通り藤沢市全体で決定している内容なので、「その中で皆さんにとって一番いい方法は何か？」を先生方も一生懸命考えています。

前向きにとらえれば、【自らを律し、共に生きる人になる】ということを考える「自学自習」の力を付ける大切な時間になります。

3月中に学習する予定だった内容については、とりあえず、教科書やe-ライブラリを使って予習してほしいと思います。各学年・学級だよりも参考にポジティブに自らを成長させましょう。

保護者の皆様もかつてない体験ということで、戸惑いもおありと思いますが、保護者の皆様とともに今できることを学校としても考えて参りたいと思います。

以前、避難訓練時や災害が起きた折りに、「今の時代、何が起きてもおかしくない。」ということを生徒の皆さんにお伝えしたことがあります。震災をはじめ、天候の大きな変化による自然災害、そしてウィルスによる感染症の対応とこれから先も、その変化に対応しながら、よりよい形を考えていくことが求められていくと思います。「自分の命は自分で守る。」を基本として皆で力を合わせて最良の方法を検討していきましょう。



卒業生の皆さんには、6日に校長講話という時間があり、お話しをする予定でした。残念ながらその機会もなくなってしまったので、紙面で思いを伝えます。

卒業生の皆さんが、この3年間で培った力はとても大きく、いつの時も学校全体のリーダーとして活躍しました。在校生にもその姿は映っていることと思います。高倉中学校の伝統を素晴らしい形で引継ぎ、たくさんの財産を残しました。9年間の義務教育を終了し、胸を張って卒業する姿を示してほしいです。たくさんの笑顔、凜(りん)とした姿をありがとう。式当日も頑張った自分に自信を持って主役となってほしいと思っています。

今日からの休業が1、2年生にとっては、とても長いです。一日のスケジュールを自分で作って、学習の時間、身体を動かす時間、本を読む時間、料理をする時間、整理整頓をする時間、など計画してみてください。

本日、お渡ししているお知らせには、今回の臨時休校に伴い、4月から活用予定だったものを前倒して藤沢市が準備した物が入っています。ゲームの時間と分けて、携帯やタブレット、パソコンを使ってチャレンジしてみてください。

テレビでも話題になっているICTの活用については、来年度から大きく変化し、学校では日常的にタブレットを使っていく計画です。その準備と考えると、できることを自分で進める機会にしてほしいです。

私達教職員も、この不測の事態にできることを努力して参ります。ご理解の上、ご協力何卒よろしくお願い致します。

